

1 生徒・保護者アンケートの結果

質問項目（2項目になっているものは、上が生徒、下が保護者）		生徒 肯定評価	保護者 肯定評価
①	・生徒は、「学び合い 高め合う」ことを意識しながら学校生活を楽しんでいる。	84.6%	74.9%
②	・私は、生徒会や委員会活動、学校行事に積極的に取り組んでいる。 ・学校は、行事や感動体験を通して生徒の自己肯定感を高める工夫をしている。	72.1%	80.5%
③	・先生方は、熱心に指導してくれて、授業のわかりやすさ楽しい。 ・学校は、個々の生徒の実態に応じた指導支援を工夫し、わかる授業の展開に努めている。	88.8%	65.5%
④	・先生方は、授業で「めあての明示」と「振り返り」を実施し、生徒の考えを発表する場や、話し合いの場を設定している。 ・学校は、授業で生徒の考えを発表する場や、話し合いの場を仕組んでいる。	90.7%	77.5%
⑤	・生徒は、生活の3本柱「明るいあいさつ」「時間厳守」「掃除の充実」を意識して生活している。	88.4%	76.4%
⑥	・私は、いじめはどんなことがあってもいけないと考えている。 ・学校は、互いの人権を尊重し、いじめはどんなことがあってもいけないという指導をしている。	95.5%	73.0%
⑦	・先生方は、明るく生き生きとしており、熱心に指導してくれる。	93.4%	84.6%
⑧	・先生方は、行事や部活動など、生徒が活動しやすい状況を配慮してくれている。 ・学校は、業務の精選や効率化など、業務改善を推進している。	90.1%	63.3%
⑨	・先生は、学校や生徒の様子を各便りやメール、懇談会などで積極的に情報を発信している。	82.0%	89.7%
⑩	・私は、ボランティア活動に積極的に参加してさまざまなことを学び、将来は、今住んでいる地域の役に立ちたいと思っている。 ・学校は、地域人材を積極的に活用したり、ボランティア活動に積極的に参加したりして、地域との連携強化を図っている。	59.9%	76.8%

2 アンケート結果からの分析

- ① 生徒は、学校教育目標を意識して学校生活を楽しむことが概ねできていると考えられる。
- ② 行事等を通じた自己肯定感の育成については、生徒自身が、いつ・どのような場面での活動のことかを明確にすることで、価値づけにうまくつながると思われる。
- ③④ 授業のわかりやすさやその内容についての生徒の評価は高い。普段の授業の様子が保護者等に、より伝わるようになるとよいと思われる。
- ⑤ 生徒の意識は徐々に高くなっている。生徒会活動で本項目を意識した活動を計画・実践していることで向上につながっていると思われる。
- ⑥ 100%をめざしたい内容である。教育活動としての生徒全体への取組を保護者にうまく伝えたい。
- ⑦ 「教職員」に対する評価は生徒・保護者ともに高い。教職員集団が明るく元気に、笑顔で過ごせることは学校全体の活性化にもつながると思われる。
- ⑧ 学校として業務改善の方針を示し、全体で共有することが必要である。
- ⑨ 情報発信についての評価は高い。いじめへの取組やルール（校則）の変更、働き方改革に関する内容なども併せて発信できると、他の項目も含めた保護者の方からの認知や理解も深まるとと思われる。
- ⑩ 保護者の評価が高い。ボランティア活動（日時・場所・活動内容）を精選し、より参加しやすい活動を計画できると生徒の評価の向上につながるとと思われる。

3 主な要望事項と対応（自由記述から）

- 設備の改善 → トイレの洋式化、教室扇風機の修理、第2理科室の雨漏り修理はR7夏に実施。
敷地内樹木の剪定は今春から開始。その他の施設改善は要望中。
- 校則の見直し → 今年度より改定事項あり（詳細は生活学習ノートに記載）
暑さ対策としての夏季の服装や、靴については今後検討。
- 学力向上について → 今年度より、校区内小学校とも連携して授業研究・職員研修を実施中。
- 生徒の居場所づくりについて → 今後も保護者の方・地域の方と連携しながら進めていく。